

「会報リサイクルデザイン」

発行日：1994年12月15日

編集・発行

横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒220 横浜市西区平沼1-33-1

東洋建物横浜ビル5階

TEL 045-316-4050 FAX 045-316-6050

94
第4号

RECYCLE Design



横浜市資源リサイクル事業協同組合

十二月定例理事会

十二月十六日(水)開催

古紙委員会からの報告。

11月7日に、横浜市環境事業局へ「横浜市における古紙分別収集システム」の提案書を提出。

県行政センター回収料は検討中。共同回収について、回収日は12月20日(木)となっているが、早く回収したいところはその前に行つてかまわないとのこと。

オフィス古紙の共同回収は10月の回収実績は9月を下廻り、組合としては環境事業局の指導をもつし強化してもらいたいと要望が出た。

集団回収の禁忌品(古紙に混ざってはいけないもの)について、品質の面で基準がまちまちであるという質問があり、ノーカーボン紙を禁忌品として取扱つかどうか検討中。新聞古紙混入

品には、ダイレフトメール、雑誌の混入はダメ。チラシ

の混入はある程度はよい。また、アルミ缶価格は次回値上げを検討。

市況は、古紙は品不足だが価格に反映するまでには至っていない。

金属委員会の報告。

粗大部会から不法投棄物撤去作業を、11月15日泉区中田町で行い、神奈川、読売新聞で掲載されたとの報告。理事長から不法投棄物撤去作業の市予算のことで、今まで市当局だったが、今後各区にもこの作業の予算

が出ているので、各支部の業者に直接区から話しが来るとのこと。

事業研究委員会からは、アルミ缶回収は11月から西友1店舗が増えた。

総務委員会から平成7年賀詞交換会開催について。

1月13日(金)午後6時から午後9時。場所はインターナショナルプラザホテル。

庶務事項として、年末年始日程について、組合事務所は12月20日～1月5日まで休日。北部センターは12月20日～1月9日まで休日。10月下旬から組合事務所新しい事務員さんが入り、主に古紙を担当。よろしくお願ひします。



不法投棄の現場から

リサイクル組合の粗大部会は9月27日(火)、保土ヶ谷区仏向町の横浜シューマイ工場裏の不法投棄物と11月15日(火)に泉区中田町の私道の不法投棄物撤去作業を行いました。

仏向町の現場は、4トン

トラックが道に入ると、横を自転車がかろうじて通れるくらいの砂利道に沿った崖で、傾斜もきつく、木もかなり生えているため、殆んどが人海戦術による手作業となりました。地元の警察、環境事業局保土ヶ谷事

務所、横浜土木事務所、自治会の方々の協力を得て30数名が参加しての作業となりました。

投棄物は約10年前から捨てられていて、洗たく機・自転車・ミニバイク・家具・布団など、数えきれないほどでした。中には洋式トイレもありました。

自治会の人達も作業を見ていて、投棄物の多さに驚いていました。

最終的には、金属物が4トトラック2台、一般ごみは3台出ました。ごみ等は、ごみの日に出せるような物が多かったです。

もう一つ中田町の現場は、まわりが農作物を作っている畑なので、夜になると街灯がないため暗くなり、捨てる場所として最適になっ



●何故かパチンコ台もありました。(中田町)



てしまったようです。

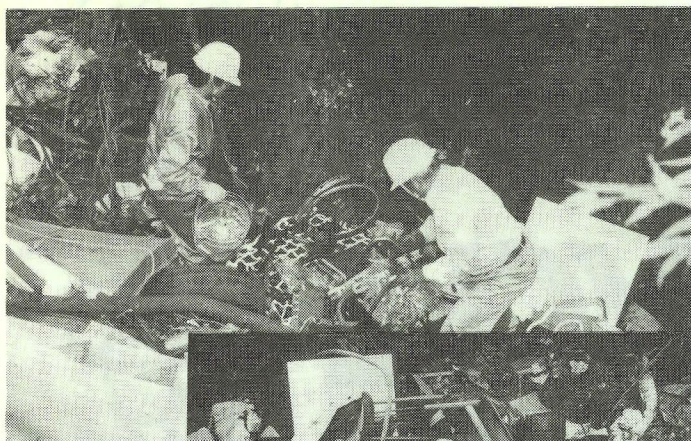
道路はごみの山になっていて、「ここが道路なのか？」と言いたくなるようでした。

中田町の作業は、環境事業局泉事務所、土木事務所、警察、地元住民の人達ら50数名が協力してくれました。投棄物は、だいたい仏向町と同じですが、こちらの方がかなり多い量でした。金属物がトラック8台、一般

ごみが40台分もありました。

「誰も見ていないから捨ててしまおう。」他の人も捨ててるから自分も捨てて平気だ。」と書いている人がこれらの場所に置いていたと思うのですが、後で処理する人のことを考えて捨てているのでしょうか？

これからはもう少し考えてごみの始末をしましょう。



●仏向町の現場は急な斜面なので撤去作業は大変でした。

オフィス古紙共同回収事業

会員企業訪問

第3回

朝日生命 横浜西口ビル

新横浜の企業が2ヶ所続いたので、今回は横浜駅西口にある、朝日生命横浜西口ビルの右内さん^{うない}を尋ねてきました。

朝日生命横浜西口ビルはたくさんのテナントが入っていて、回収を始めた時点からそれぞれの責任者に会って、理解された上で協力してもらっています。各テナントに回収ボックスを買

ってもらい使用してもらっています。

回収ボックスは、箱の横の部分にここには何を入れたらいいかわかる様に紙を貼ってあります。それ

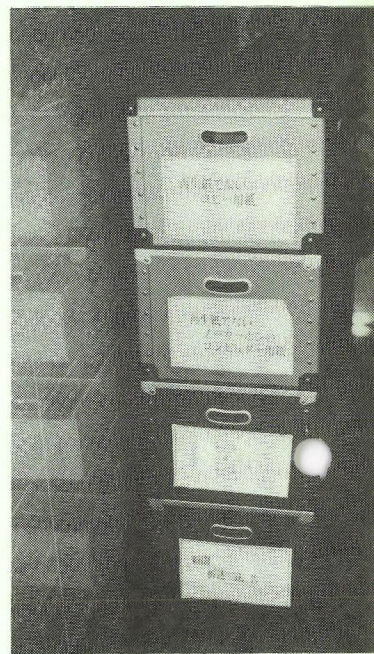


は、こちらでやっておきます。(写真参照) 回収ボックスにたまったら、地下の倉庫に品物別に分けておいて、だいたい週に2回、回収業者さんが取りに来てくれます。

回収業者さんとは、月に1回ぐらい会う機会があるので、近況等を話したりしています。

やはりコピー用紙が多いので、再生紙を使っているテナントさんも結構います。

今は古紙の相場が非常に安いので、昔みたいに買い取ってもらうことは出来ないの、買い取ってもらおうとは思っていません。将来のことを考えて、この回収事業に参加しました。



朝日生命横浜西口ビルは、分別はボックスを使って、丁寧にされていました。テナント全部を見ることは出来ませんでした。多分同じ様にされていると思います。

10月回収実績
11,850kg
でした。

リサイクルに伴う標準買取価格表

(平成6年11月現在)

(取引条件により多少の変化はあります。)

分 類	品 名	金 額
古 紙 類	新 聞	1kg 0～1円
	雑 誌	1kg -3～0円
	段ボール	1kg -1～0円
衣 類 < ず		1kg 0～1円
*アルミ缶のみ 選別した場合	アルミ缶	1kg 5～20円

この価格の標準は、100世帯以上、または500kg以上、そして1団体で数箇所から十数箇所のステーション利用とする。

集団回収以外の段ボールの標準回収手数料

- ★引越しなどは、量にかかわらず単発1回3000円
- ★商店・会社等は定期回収500kg以下、1回1000円～2000円、500kg以上3000円以上。但し、段ボールはただでストック場所は車両の付けられる場所にストックすることを条件とする。
(この価格は、組合員が段ボールを回収する時に実際頂いている回収手数料を、調査したものです。)

リサイクル意見交流会

11月1日緑区役所で、緑区減量化・リサイクル推進協議会主催のリサイクル意見交流会が開かれました。

テーマは「集団回収と個別回収」で、当組合の古紙委員長の小塚さんとダイエー消費者サービス課の方

が講師として出席しました。集団回収の説明として、回収に出していないもの、悪いもの(特に禁忌品の説明)の話。出していないものに、窓付の封筒、感熱紙(フ

アックス用紙、ビールコーティングされたカタログ類等があげられました。また回収するだけではリサイクルにならず、古紙を再生利用した製品を使用することが大切と言っていました。ダイエーの方は、牛乳パック、トレー等回収後の説明。買利物袋は、なるべく持参して欲しいとも呼びかけていました。



リサイクル型都市横浜をデザインする人

リサイクル人紹介

市会議員(港南区)

たのしいかずお

田野井 一雄

中野理事長とは横浜青年会議所活動を通して、明るい豊かな町づくり運動に汗した20年以上の友人。趣味はボランティア活動というくらいの人で、子供の会の会長として15年も資源回収を実践しており、「出前の政治」が信条。現在市議3期で自民党市連幹事長。

4号目にして初めて編集後記を書くことになりました。いろいろ試行錯誤でやってくる会報誌ですが、なかなかうまく具合には進まないものです。次号から手伝ってくれる人が増えるので、少しでも模様替える予定です。また、この会報誌を読んで何か気付いたこと、要望・意見等ありましたら、お手紙下さい。まだ始まったばかりですが、これからも「会報リサイクルデザイン」をよろしくお願いします。お手紙くださる人はこちらまで。

▼	編
集	◀
▼	後
記	◀

〒220
横浜市資源リサイクル
事業協同組合

横浜市西区平沼一・三三ー
東洋建物横浜ビル五階